

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

令和 8 年度
編入学 専門科目試験問題
(100 点
60 分)

千葉県立保健医療大学 健康科学部
看護学科

注意事項

1. 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 問題冊子は、表紙を除き 5 頁である。
3. 問題冊子及び解答用紙の印刷が不鮮明などの場合には、手を挙げて監督員に知らせること。
4. 解答は、必ず黒の鉛筆（シャープペンシルも可）で解答用紙に記入すること。
5. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
6. 不正行為に対しては厳正に対処する。

【問題 1】以下の文章について、空欄 1～20 にあてはまる適切な語句または数字を入れなさい。

1. 正期産とは、妊娠 37 週 0 日から（ 1 ）週 6 日までの分娩である。
2. 精神科訪問看護は（ 2 ）保険の対象である。
3. 認知症高齢者や知的障害・精神障害などにより判断能力が十分でない人々が、地域で安心して生活できるように支援する福祉サービスは（ 3 ）である。
4. 臓器移植において、移植片が宿主の組織を異物と認識して免疫反応を引き起こすことがあり、これを（ 4 ）という。
5. 65 歳以上の自覚症状で男女ともに最も多いのは（ 5 ）である。
6. レビー小体型認知症の人では睡眠中に異常な行動がみられることがあり、これを（ 6 ）という。
7. （ 7 ）が定める疾病等は、介護保険の対象者であっても医療保険が適用される。
8. 膵臓から分泌され、脂質を分解する消化酵素は（ 8 ）である。
9. 在宅で実施している医療的ケアは、（ 9 ）が最も多く、ついで経管栄養、吸引である。
10. がん診療連携拠点病院には、（ 10 ）センターの設置が義務づけられている。
11. 地域包括支援センターに配置される職種は、保健師（看護師）、主任ケアマネジャー、（ 11 ）の 3 つである。
12. 尿が生成される過程でブドウ糖が再吸収されるのは、（ 12 ）である。
13. 感染症法における、二類感染症には（ 13 ）がある。
14. アミノグリコシド系抗菌薬の投与に際しては、有害事象として第Ⅷ脳神経障害による（ 14 ）に気をつける。
15. 600ml の輸液を 50 滴/分の速度で成人用輸液セットを用いて順調に滴下し、現在 100 分が経過した。この時の残量は（ 15 ）ml ある。ただし小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第 1 位を四捨五入すること。

16. 甲状腺 C 細胞（傍濾胞細胞）から分泌されるホルモンである（ 16 ）は、破骨細胞による骨吸収を抑制する。
17. 災害時のトリアージの倫理において、行為そのものに注目してその行為の良し悪しを判断する義務論と、行為の結果に注目して行為の善悪を判断する倫理理論である（ 17 ）がある。
18. 単独作業状況よりも集団作業状況において一人当たりの作業量が低下することを（ 18 ）と呼ぶ。
19. 成年後見制度は（ 19 ）後見制度と（ 20 ）後見制度の 2 つに大別される。

【問題 2】以下の事例を読み、問 1～4 に答えなさい。

A さん（70 歳、女性）は、73 歳の夫と 2 人暮らしである。A さんは 65 歳の時にパーキンソン病と診断された。ホーエン・ヤールの重症度分類はⅢ度で、要介護 3 である。主介護者は夫であり、A さんの長女夫婦は車で 1 時間のところに住んでおり、週末に様子を見にきている。A さんは訪問看護を 1 週間に 1 回利用している。

問 1 パーキンソン病で最も多い初発症状は何か。

問 2 要介護 3 とはどのような状態であるか説明しなさい。

問 3 A さんの夫より「夕方になるとふらつきが見られ、転ぶのではないかと心配だ」と訴えがあった。A さんの安全な歩行のために訪問看護師が最も優先するアセスメント内容とその理由を記載しなさい。

問 4 A さんの長女は、「毎日の介護で父への負担が心配です。私もできる限り実家に帰るようにしたいのですが、平日は仕事があるため父に任せるしかないのが現状です」と話している。訪問看護師として A さんの長女にどのような助言をするとよいと考えますか。助言の内容とその理由を簡潔に記載しなさい。

【問題3】 以下の事例を読み、問1～3に答えなさい。

Bさん（85歳、女性）は、無職の長男（62歳）と2人暮らしである。主な疾患は脳梗塞と認知症で、右片麻痺と軽度の失語症がある。脳梗塞の退院後、引きこもりで安定した職に就いていない長男との在宅療養が始まった。収入源は療養者の年金のみで、長男は生活苦を理由に、週1回の訪問看護以外はサービス利用を拒否している。在宅療養を始めて2か月になるが、排泄の世話は朝1回おむつを交換するのみで、食事もスーパーの弁当を1日2回、出すだけである。

問1 この事例で高齢者虐待が疑われる情報を2つあげ、その情報を選んだ理由についてそれぞれ記載しなさい。

問2 ある日の訪問看護で、長男から「母親が夜中に大声で叫んだり、おむつの中に手を入れて布団を糞便で汚したりするから、イライラして物にあたったりきついことを言うてしまう。でも、施設とか離れて暮らすのは嫌だ」との訴えが聞かれた。訪問看護師としての対応を2つあげ、その理由についてそれぞれ記載しなさい。

問3 Bさんと長男が、今後、自宅で在宅療養生活を送るために、訪問看護師が連携することができる、フォーマルサービスの専門職とインフォーマルサービスの地域支援者を、それぞれ2つずつ記載しなさい。

【問題4】 以下の事例を読み、問1～3に答えなさい。

Cさん（30歳、1回経産婦）は、妊娠32週6日に緊急帝王切開で1960gの女児を出産した。出生後1分の時点で、児の四肢にはチアノーゼがあり、刺激に対して顔をしかめる程度の反応で泣き声も弱々しい。心拍数は110/分で心雑音はなく、四肢は活発に動かしている。この児に関するアセスメントと支援について以下の質問に解答しなさい。

問1 事例の児に関する以下の説明で、適切な解答を（ ）に記載しなさい。

この児のアプガースコアは、（ ① ）点である。妊娠週数に対する出生体重や身長が10パーセンタイル未満の場合を（ ② ）という。

問2 女児はNICUに入院することになった。Cさんは搾乳を希望し、搾乳を始めた。搾乳の方法について適切な解答を（ ）に記載しなさい。

- 1) 1回の搾乳時間は（ ① ）分程度とする。
- 2) 哺乳瓶に使用する消毒液は（ ② ）を用いる。
- 3) 家庭用冷蔵庫で冷凍保存した母乳の保存期間は（ ③ ）程度である。
- 4) 母乳の冷凍解凍に電子レンジを用いると（ ④ ）の活性を失わせる。

問3 この児に起きやすい症状である「低血糖」「低体温」「呼吸障害」「電解質異常」の中から2つ選び、その理由について説明しなさい。